

中央自動車道の渋滞対策

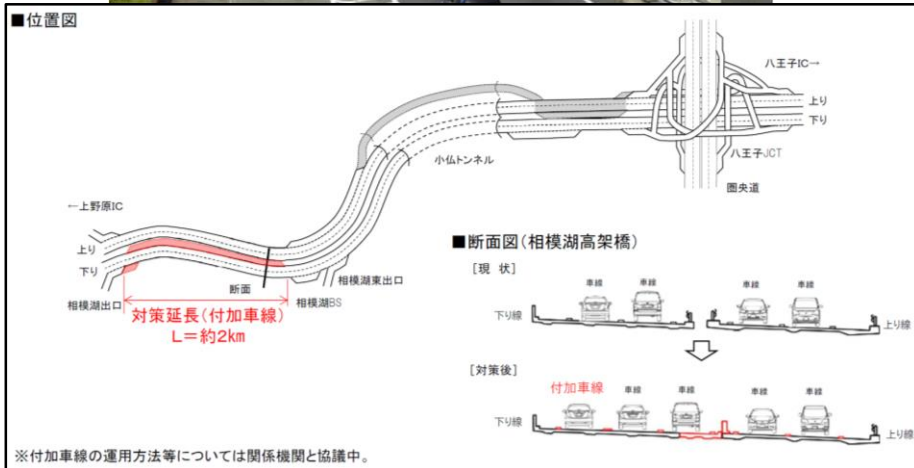
中央自動車道は、三大都市圏を結ぶ大動脈であるとともに、本県においては、県外に開かれたネットワークを形成する重要な道路です。しかしながら、小仏トンネル付近や相模湖などでは、交通容量不足等により慢性的な渋滞が発生しています。

こうした中、高速道路ネットワークの機能を最大限発揮させるため、中央自動車道では、小仏トンネル付近の上り線及び相模湖付近の下り線について、付加車線設置による渋滞対策が事業化され、現在、工事等が進められています。

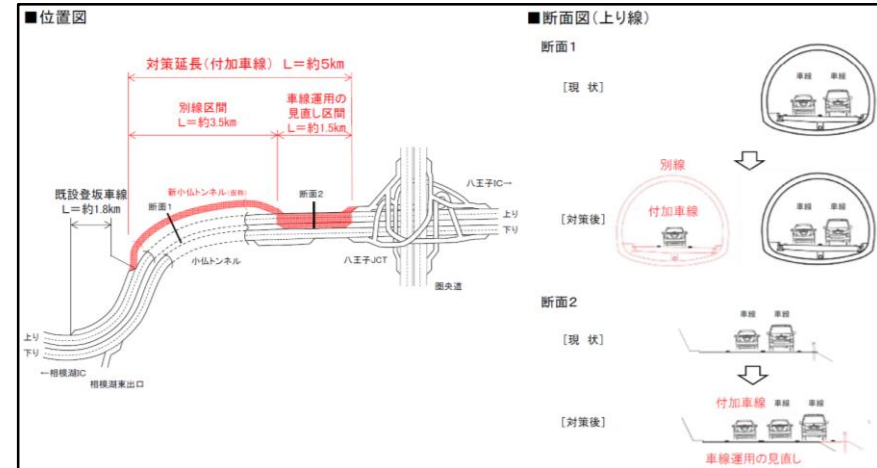
中央自動車道 相模湖付近(下り線)混雑状況



中央自動車道 小仏トンネル付近(上り線)混雑状況



渋滞対策の概要(付加車線設置)



渋滞対策の概要(付加車線設置)